

第4回米原市定例教育委員会

日 時：平成28年4月19日

午後3時30分開会

場 所：山東庁舎3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 本庄委員 近藤委員
山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長 藤岡補佐

学 校 教 育 課：藤木課長

生 涯 学 習 課：丸本次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：大澤課長

図 書 館：今川副館長

こども未来部：宮崎部長、安食次長

書 記：澤

1 開 会

2 委員長あいさつ

日が経つのは早いもので、新緑が目眩しくたいへん過ごしやすい季節となりました。新しい年度となり、みなさんにおかれましてはそれぞれ御健勝にて順調にスタートをしていただいたところだと思います。

本日の資料にあります各課の事務分掌表を見ましたが、それぞれの課でこれだけのメンバーでたくさんのお仕事を抱えていただいていることを改めて認識しました。

しかしながら、どの仕事もストップしてしまうと上手く機能しないので、管理職会議に出ておられるみなさんにはそれぞれの立場で、しっかり機能しているか等を含めこの1年御指導をお願いしたいと思います。

話題に入る前に、熊本、大分地方の地震ですが、本日のニュースを見ても震度1以上が606回と報道され、3日前には300回を超え、みなさんも感じておられるかもしれませんが余震がこれほど続くということは私には記憶にありません。16日の未明に発生したマグニチュード7.3の地震やその後の余震も大きく、被災された方はたいへんな思いでおられ言葉に言い表せないくらいの日々ではないかと思います。私たちが阪神・淡路大震災を経験し、地震の怖さが頭に残っていますが、震度4、5以上のあの地震がまたいつ起こるかかわからない心境というのは、恐ろしくたいへん気の毒だと思います。

色々な団体や行政をはじめとして手を差し伸べ、何とかの思いで今日から飛行機が動いていますが、本当に大変なことが起こったという思いです。それぞれの立場で何ができるのかを考えさせられるのではないかと思います。このような地震は、いつ何時どこで起こるかも分からないですし、この辺りで起こる可能性もゼロではありません。これからどう展開していくのか分かりませんが、改めて事の重大さを身にしみ感じており、一刻も早く元の生活に戻れるようにとの思いでいます。

新しい年度に入り、4月5日に先生方の管理職会議に参加させていただきました。例年のことではありますが、特に校長には改めてリーダーシップの発揮をお願いしたいと話してきました。教育の世界では不易の部分が当然あるわけですが、その不易の部分を大事にしなが、前年踏襲する姿勢ではなく管理職として勇気と信念、そして情熱を持って校園の経営にあたってほしいとも話してきました。

また、先日小中学校長の歓送迎会にも出席してきました。新しく着任いただいた先生方も意欲を持って過ごしていただいているようですし、子どもたちも順調に新学期を迎えてくれているようです。まもなく中学校は修学旅行も始まります。当たり前のことですが、ありがたいという思いです。

月々と言いますか管理職会議の時もそうでしたが、本来、教育委員会という立場で指示や連絡事項を、教育長をはじめ課長等々にやってもらっています。これから毎月開催される校長会や管理職会議でも教育委員会としての立場で物事を言いますので、担当課でも対応をお願いしたいということを1年の初めなのでお願いしたいと思います。改めまして1年間どうぞよろしくをお願いします。

3 委員、事務局職員自己紹介

4 会議録承認

3月定例会議事録 承認

5 教育長報告

4月1日から行政も人事異動があり、新しいスタッフでのスタートを切りました。朝早くからは辞令交付、午後には新規採用などの着任式、夕方には教育部の年度初め式、この年度初め式では委員長からもお言葉をいただき、私からは各部局のポイントとなる所をお願いして、その後、部長を中心に部内会議を開催し、密接な連携のもとスタートをさせていただきました。

特に今年度は学校、園の人事異動での管外からの転入や新採が多く、新任が19人、管外からの転任が19人、計38人が新しく着任し非常に新しい風を吹き入れていただいた。また、管理職の昇任が7人で例年になく大きな異動があり人事は最大の研修であるということと、同時に新しい風が入ってくるのではないかと考えています。同時に教職員の質の向上とい

うことでお互いが影響を与え合いプラスに動くのではと感じています。

総合教育会議の中での理念の1つであがっている、ともに学び・ともに育つ・学びあいのまちといった部分を上手く推進できればと考えています。

4月5日には管理職会議、4月6日は県教委指針説明会がありましたが、例年と少し違い県の指針説明でありながら市町村の事例交流、取組の交流があり、それに対する意見もありましたので、来年県がどうやっていくかは分かりませんが、問合せがあれば県の指針説明にもう少し時間をとっていただきたいという願いはしていくべきだと思っています。

4月8日には入学式があり新学期がスタートしました。今のところ大きな課題はないと把握しており、順調にスタートしてくれたと考えています。

本日から市役所内で市長、副市長、教育長の三役の重点目標ヒアリングをすべての部で行い、教育部も明日の午後ヒアリングを受けます。ポイントとしては地方創生絡みで米原の保育・教育は非常にきめ細かく、質が高いと評価していただけるような学校・園経営でありたいと思いますし、生涯学習に関わって学び合えるまちであるということもPRできるような教育部の推進を図っていく必要があると思っています。産学官の連携の元、青山学院大学、NTTドコモ、ルネサンス等企業との連携は、教育委員会でも積極的に取り組んでいるところでもあり、また課題もありますがよりよい方向にもっていきたいと考えています。

各課におきまして、教育総務では、特に4月に入り新電力の導入に向けた動きで各小中学校も新電力に切り替える動きを作っていただき公告もしています。また、国体に向けた米原市の整備の方向性を県教委にも出向き、米原はホッケーでいくことや、第2グラウンドの整備も考えているなど意思表明をしています。

学校教育課では3月末の人事も大異動で、論文の表彰もあり、また退職者も多かったのが新たな風が入っていると思っています。本日は、熊本等の被災地では実施されているかどうか分かりませんが、小中学校で全国学力状況調査を行っています。5月に入ると各主任会を行っていただきます。それが終わらないと学校教育課も一段落しないように思います。

生涯学習課では土日は何らかの行事が入っていて、4月9日にはルッチまちづくり大学の公開講座が行われました。「米原の幸せって何だっけ」という豊かさを考える公開講座が行われ参加しましたが、来ておられる方はそういった部分を熱心に考えておられていると改めて感じました。4月13日にはスポーツ推進委員の委嘱式を行い、10日には入江干拓マラソンも盛大に開催され、23日には司馬遼太郎没後20周年のシンポジウムが文産で開催されるので、課員総勢で対応いただくと聞いています。

歴史文化財課では出前講座等をお願いし、昨年度末にも「学校のまわりの宝物」という冊子を3校分作っていただき、あと2年かけてすべての小学校区の学校の近くの歴史文化財等の遺跡も含めてパンフレットを作っていただき、学校教育の中で生かしていく動きもつくってもらっています。

学校給食課も東部西部ともに所長が替わり、新しい雰囲気の中で業務に励んでいただき、新しくスタートし一週間、10日ほど前に食材の異物混入が2件発生し、早急に対応いただきました。給食センターでの問題というより、搬入部分での問題だと聞いています。今後也十分点検しながら給食業務に携わっていただきたいと思います。給食センターも建設されて随分経過しているので施設の整備や修繕が必要だとみていただいているので、今後対応をいただく予定です。

図書館は、山東が15年、近江が17年経過し、いろいろなイベントを計画いただき、23日のこども読書の日になみお話会などを開催すると聞いています。また、大原小学校の図書館大改造の計画も6月にしていただいております。先日打ち合わせが行われ、今後は双葉中学校の図書館大改造もやっていきたいと聞いています。事務的なことでは図書館サービス基本計画の策定に向けて職員が頑張っており取り組んでいると聞いています。

特に今年、学校教育課で学校経営支援員に馬淵先生、生涯学習課にホッケーを中心とした部分や体協事務局の移管に向けた部分でスポーツアドバイザーの鈴木先生、歴史文化財保護課の柏原宿歴史館館長に谷口徹さん、3名を嘱託職員で来ていただいたことは非常に大きな戦力になっていると感じています。

以上、簡単ですが報告とします。足りない部分は各課長から付け足して報告をお願いしたいと思います。

委員：何かございますか。今日の学力テストは、昨日のニュースでは被災地を除いて実施と、そのような言い方で報道されていました。

事務局：この間は延期とか言っていましたが、やっぱりできませんよね。

委員：年度初め式の時もそうでしたけど丸本次長に兼務辞令が非常に多く、スキルのある方なので心配はしていないのですが、この組織の狙いはこういった所にあるのでしょうか。

事務局：年度初め式の時にも言いましたが、今後は課長補佐等に力を発揮していただきたいという思いがあるのだと考えています。本人も多方面にわたってできますし。

委員：ありがとうございます。心配はしておりません。色々と情報の行き来ができるので期待しています。よろしくお願いします。

委員：兼務はいくつあるのですか。

事務局：教育部次長、兼生涯学習課長事務取扱、兼市民交流プラザ館長、兼山東・近江図

書館長、兼はにわ館長です。

事務局 : 実質は、副館長が館長をやっていただくと思っただいていいと思います。

事務局 : 副館長も月曜休館の昨日も出てくれています。いろいろな報告書類作成等に追われ、本来の司書としての作業ができていけないので困っていますが、自分が館長だという思いでやってもらい臨時職員も動かしていただきたいと思っています。また、雨が降ると施設の雨漏れも心配ですので、シートを被せるなどの処置が必要だと思っています。さらに、はにわ館関係ですが、先ほどの教育長の話に付け加えさせていただくと今年は図書館の方で予算を持っているので、はにわミュージアムの中のはにわを修復するアクリルフードを設置したり、展示スペースを改修するなど、はにわ館の対応もしていかなければと思っています。

委員 : 入学式や新年度が始まり、子どもたちも教師側も保護者も、私たちが緊張気味ですが、これから徐々に慣れてくれるのかなと思います。それから、先ほどもおっしゃっていた図書館ですが、学校図書館活用支援事業がありますが、これは県からの支援と市からの支援なのかその仕組みをお聞きしたいのと、市内の学校ではどの程度進んでいるかをお聞きしたいと思います。

事務局 : 学校図書館活用支援事業は県の事業です。この事業は県としては3年間の事業で来年までで、それを受け米原市としては2年目です。目的は、学校図書館を読書センターと学習情報センターとしての機能を持てるようになることで今まで読書が中心でしたが、学校図書館を使った授業ができるということで本の分類も整備し授業での活用スペースを作ることが出てきます。米原市では昨年伊吹小と河南小を整備し、一昨年は坂田小、今年度は大原小と双葉中を予定しています。双葉中については現在、現地診断に県立図書館の支援員の方が入っていただき一緒に動いているところですが、日程はまだ調整できていないところです。

委員 : ありがとうございます。学校でも整備して下さって子どもたちが活用するのに非常に良い環境になるかなと思います。あと、図書館の方でもクレンリネスの徹底などもされているようなので、図書館を訪れる方が気持ちよく利用しやすく整頓された本棚であったり、季節や行事に合わせたコーナーが作られているということで非常に落ち着いた静かな雰囲気の中で図書館を利用できるなど喜んでいきます。これからもよろしくお願いします。

委員 : 近藤委員、どんなことでも結構ですので、何かございますか。

委員 : 今日が初めてなのでいっぱい입니다。これから色々見たりしてやっていきたいと思ひます。

事務局 : 保護者の立場として例えば熊本の地震の話など、子どもさんと話す事はありますか。

委員 : 家では特にはないですね。

事務局 : 学校は親の愛情を十分に受けた子どもを預かっている中で、また校舎長会でも話さないといけないと思ひていますが、子どもが学校にいる時に震度7くらいの地震が起きたらまず何をするのか先生は即答できるのか、また、土日で子どもが家にいる時に地震が起きたら先生がどのような動きをするのか考えていけないといけない。そんなことを家で話題にしているのかなというか、話題にしてほしいという言い方もしていかなければいけないのかなと思ひています。中学校の先生ならボランティアで子どもを動かすという思ひも出てこないといけないのかなとも思ひます。先日も報道記者が被災地で危ない中で自分を犠牲にして報道している姿を見た時に、はたしてそれが正しい報道の仕方かどうか分かりませんが、学校ならガラスの部分から離れるとか教室ならまず机の下に入るなど、映像を見ながら学校現場でその時どうするかを研修の話題にしてほしいと話そうと思ひています。近藤委員も保護者の立場で学校はこうあってほしいなどの思ひがあればどんどん言っていたければ良いと思ひます。

委員 : 先ほどの教育長の話の中で異物混入の話がありましたが、課長、もう少し分かっている範囲で詳しくお願いします。

事務局 : はい。まず4月11日から給食がスタートしたのですが、ソフト麺の一部に黒いものが付着していると申し出がありました。搬入業者に確認したところ製造過程で付いたということです。今後の対策については、機械の清掃月1回を月2回にし、また、なくても良いような工程はなくすなど検討し、危ない工程はなくす方向で進め、清掃については月2回を目途に増やすという回答を得ています。2つ目は、味噌汁から5センチ程度の細い針金みたいなものが、給食を食べる時に箸にひっかかってきたということです。これについては、現場で入るものではなく、中に入っていた具材の豆腐、わかめ、油揚げ、キャベツが入っていたわけですが、納入業者に聞いているところですが一番怪しいのは海藻かなということで業者に針金を渡し、今調べていただいているところです。以上2点報告します。

委員：分かった2点は各学校で分かったのですか。学校で指摘があったのですか。

事務局：生徒が食べようとしたところ入っていて、麺についても開けたら一部黒かったということです。

委員：そういう場合は米原市内の校・園にストップをかけられるのですか。

事務局：味噌汁はお椀を替えて新しい味噌汁にし、ソフト麺は取り替えました。ソフト麺は1つだけでしたので。

委員：米原市内で1つだけだったのですか。

事務局：はい、1つだけでした。

委員：子どもが食べてしまってどうのということではなかったということで、おはしにひっかかってきたということですね。しかし、子どもが口にするものでそのようなことが一つあると、またないかなといった信頼感などがね。そのような情報は各学校へ流されたのですか。その辺りの対応はどうなっていますか。

事務局：今のところは該当している学校とのやりとりです。

委員：変に発信するとまた不安がったり難しいところもありますが、そのようなことが続いたりすると怠慢ということもありますので考えていただき、食に関する安全など業者には厳しい指導をしてもらわないといけないと思います。

委員：新規採用など、新しい風を吹き込んでいただけるということで管理職会議でも例年の感じとは若干雰囲気が変わったように感じます。新しい風が吹くことは大変良いことでもありますが、教育の中では変えてはいけないこともあります。しかし、前年踏襲ばかりではさみしい所もありますので不易と流行の部分を解釈して取り組んでもらうことが大変大事だと思います。

先ほどの教育長の話で米原の教育の特色として、「きめ細かさ」「質が高い」「学び合いのまち」と言われましたが、きめ細かさは日々の保育、授業は1人1人にしっかりと子に応じた指導を米原は徹底してやっている。また、学び合いのまちというところで様々な学習方法がありますが、米原は内容に応じて色んな指導をやってもらっている。そのことが質の高い教育につながって米原に勤めた先生にしんどいと言わすくらしいの米原教育でありたいと思っており、それが私の願いでも

あります。

それから研究ですが、研究論文は昨年 114 点提出され、米原は彦根、長浜より実績をあげてもらっているところですが、ぜひ米原では研究教育を積極的に自分が校長を 3 年したら 1 回くらいは書いてほしいと厳しい事を言いました。管理職としてもみんなを指導しようと思えばそれくらいでないと指導はできないし、自分で書く苦しみを味わえばその先生の立場になって指導もできると思いますので教材研究をしっかりとしてほしいと思います。子どもたちも落ちついて授業を受けてくれていますし、幼児教育も充実してくると小・中もさらに一体となってこれからの米原教育は益々良くなると思います。そのようなイメージを総合教育会議や振興計画でも議論したいですし、今年はそれをまとめる年でもありますので、米原に行ったらこれ！と思えるようにどんどん出していけばと思います。教員が育つ米原市、子どもも育つ米原市、そのようなイメージをもって教育委員会主導で作り上げていきたいという私の願いも込めて教育長もやっていただいていますので、よろしくお願いします。

事務局 : 米原市に転勤してきたいという人も多いらしいです。着任式が終わり米原市教育について 30 数名の前で話してきましたが、米原に来たらきめ細かく、情熱を燃やした教育を展開するんだという気持ちでやってほしいと今年をあえて言わせていただきました。

委員 : 米原で良い教育の感じのスタートを切っていただけると良いと思います。色々と指導もしていただけるとと思います。

6 議案審議

報告第 1 号 専決処分の報告について 【教育総務課・学校教育課】

議案第 3 1 号 臨時代理の承認を求めることについて 【教育総務課】
(米原市教育委員会事務局組織規則の一部改正)
原案承認

議案第 3 2 号 臨時代理の承認を求めることについて 【教育総務課】
(米原市教育委員会事務決裁規程の一部改正)
原案承認

議案第 3 3 号 臨時代理の承認を求めることについて

(米原市文化財保護審議会委員の解嘱について) 【歴史文化財保護課】

委員 : 谷口さんは1年ごとに切り替わるのですか。

事務局 : 谷口さんにつきましては、歴史館の嘱託が1年ですので、1年でまた次の1年になるかもしれませんがそのような形になります。館長という職が解かれた後は、また審議会委員になられるかもわかりませんが、その辺りは未定です。

事務局 : 彦根市役所で勤務されていて文化財の部長までされていました。

原案承認

議案第34号 後援等名義使用承認(後援)について

【生涯学習課】

○公益社団法人日本3B体操協会創立45周年記念全国大会滋賀県大会

委員 : 3Bとは何ですか。

事務局 : ボールとベルとベルターです。

委員 : ベルターって何ですか。

事務局 : 1個のゴムの輪がいくつもつながってできたものです。

事務局 : 2人とかグループで引っ張りあう動きもあったと思います。一般の参加も無料だそうですのでみなさん良かったらどうぞ。カモンスポーツの中でも3B体操をされているそうです。

委員 : このような組織があるのは初めて知りました。

原案承認

7 報告事項

(1) 後援等名義使用承認(後援)について

○第29回カロム日本選手権大会

【生涯学習課】

○第14回川端旗争奪野球大会

(2) 米原市人権教育推進員の委嘱について

【生涯学習課】

委員 : 1年ごとの委嘱で継続してやられている人は名前を見れば分かりますが、初めて

の方も何人かおられるのでしょうか。昨年、ハートフルフォーラムでも話題が出ていますが、1年ごとの委嘱というのはそれでいいのか、やっってもらならせめて2年とか地域での研究会の持ち方等、充実させていく観点から言うと推進委員さんの任期は1年でいいのか、そのあたりはどうでしょうか。

事務局 : 担当課としては熟知されている方がおられた方だと思います。実際に何年かやっていただき現場で指導いただいたこともありますし、規則では任期は1年とする、ただし再任は妨げないとしている中で柔軟な対応をしていると思います。やはり自治会にも色んな事情もありますので、このような形であがった方に委嘱をするというシステムが現状です。

事務局 : 何年か前からハートフルフォーラムで実績の報告を聞く会がありましたよね。

事務局 : 昨年までしていました。

事務局 : ああいうのがあると刺激になると思います。ただ映画を見て終わりではなく、自治会独自のハートフルフォーラムのやり方も交流できるので。それが逆に推進委員さんの任期が1年の方が新鮮味があって良いのかもしれないし、刺激を受け合う場面は設定として必要かと思います。

委員 : 任命の数は各自治会によっては複数になっていたりしていますが、世帯の数に比例しているのですか。

事務局 : いえ、比例していません。特に自治会から何人ではなく、自治会の中で地域割されていますので、小さな地域でも3人おられる所もあります。もう少し整理をした方が良いのかなとも思いますが、あがってくるだけの人を委嘱しているため、必ずしも自治会から1人ということはありません。

委員 : 米原地区は結構多いですね。

委員 : 例年ハートフルフォーラムでも話題に出ますので、また御指導いただけたらと思います。研修会をするための情報やアイデアがあると推進委員さんの気も楽になるのではないかと思いますし、それぞれの地域の内容の充実にもつながると思いますのでよろしくをお願いします。

(4) 平成 28 年度米原市奨学資金の貸与予定者について

【教育総務課】

委員 : 貸与の仕方はどうでしたか。将来返金はどうでしたか。

事務局 : まず、貸すときには半年に 1 回、4～9 月分を 5 月に、10 月～3 月分を 10 月に年間 2 回ずつ 4 年間貸し出しします。その後、返還については貸し出した 4 年間の倍の期間で状況に応じて月賦でも一括でも結構ですし、8 年間の間に返していただくことになっています。貸し出せる人数も決まっていて、年間 8 人が限度となっています。現在は 4 人に貸し出しをしていますのでトータルで今年については 7 人貸しているということになります。

事務局 : 8 人を超すとどうなるのですか。

事務局 : 超えると貸せないということになります。

事務局 : ということは、あと一人ですか。来年誰かが大学を出ないといけないということですね。

事務局 : だいたい年間 2～3 人ずつの申し込みに今のところなっているので大丈夫です。

委員 : 滞りなく返還されているのですか。

事務局 : 特に問題はありません。

事務局 : 無利子ですね。

事務局 : はい。無利子です。

委員 : 月 3 万で、1 年間で 36 万。4 年間、144 万を勤められて倍の 8 年の間に返済することになるんですね。

事務局 : 毎月返していただくということだと 1 万 5 千円ずつ返していただくことになり、ほとんどの方が 4 年で借りたら 4 年で返していただいています。

委員 : 今、なかなか返済も難しいみたいですが、1 年分の学費ぐらいはこれで賄えるのですね。

委員：このような市の奨学資金制度に手を上げておられるということは、それだけ勉学に励もうということで、制度があってもゼロではさみしいですし、活用いただけるのはありがたいことですね。学業に励んでいただきたいと思います。

8 質疑応答

9 その他

10 閉会
次回

第5回定例教育委員会 5月12日(火) 午前9時30分～

山東庁舎3階 第2委員会室

以上をもって第4回定例教育委員会を午後5時05分に終了した。